

# 専門ガイド中島すい子さんと 魚沼の里に残る「石川雲蝶」の作品群を訪ねて

越後の名匠「石川雲蝶」の作品の魅力を探しに行く旅です。

石川雲蝶は江戸時代末期に江戸に生まれ、幕府御用勤めの彫師として20代のころから活躍していました。縁あって越後にうつり40年余の後半生に1000体の作品を残しました。木彫・石彫のみならず絵画も見事です。激動の時代の中で長らく埋もれていましたが、近年「日本のミケランジェロ」と評価されるようになりました。

その作品はときには力強く、ときには豊艶で見る者的心をとらえて離しません。160年前に雪深い魚沼の里に遺された渾身の作品群を巡り、作品の見えないところに隠されている雲蝶の遊び心をご一緒に探してみましょう。雲蝶の魅力のとりことなった専門ガイドの中島すいこさんが、私たちが見落とすような細かなところにまで丁寧な説明をくださいます。



## ガイドの中島すい子さん紹介

「石川雲蝶の作品を堪能するツアー」の専属ガイド。2015年南魚沼雲蝶会を設立し、石川雲蝶の全国的デビューを目指して活躍中。著書に「私の恋した雲蝶さま」、DVD「石川雲蝶作品巡り」

## 1日目 古民家での伝統の郷土料理と 雲蝶の作品を訪ねて

越後湯沢駅に到着後、150年前に建てられた越後の典型的田舎作りの「櫻苑」で四季の恵みを生かし、ひとつひとつ丁寧に調理された郷土料理をいただきます。午後はいよいよ雲蝶の制作した欄間や襖絵の残る八海山龍谷寺を拝観し、近くの村落にひそりと佇む小さなお堂の穴地十二社に残された雲蝶の作品を訪ねます。お宿は環境省により国民温泉保養地に指定されている六日町温泉の「旬彩の庄坂戸城」です。少し早めに宿に入り、ゆっくりと温泉で一日の疲れを癒してください。



八海山龍谷寺



櫻苑にて湯沢の郷土料理のお食事



櫻苑外観

## 2日目 庄園の西福寺開山堂と針倉山永林寺と非公開作品の特別見学

西福寺開山堂に残る雲蝶の代表作「道元禅師猛虎調伏之図」は天井一面に極彩色の透かし彫りが施され、見る者を圧倒します。それとは対照的に針倉山永林寺の欄間の天女の透かし彫りはいたおやかで豊艶雲蝶の理想とする女性像を想像してしまいます。二つの対比をお楽しみください。また、地元の方々が大切に守っている西福寺近くの雷土神社に残る非公開作品を特別に見せていただきます。

## 昼食は魚沼地方が発祥といわれる「へぎ蕎麦」を召し上がっていただきます。

午後はかつての三国街道の塩沢宿・牧之通りを散策いたします。一時はさびっていましたが官民一体で町づくりに取り組み雁木と切妻屋根の続く美しい街並みが蘇り、都市景観賞を受賞しました。午後のひとときは酒屋さんや越後上布・塩沢紬などの伝統織物を扱うお店のほか、現代的なカフェなどもある通りをのぞきながら散策したあとは塩沢在住の水彩画家外山康雄さんの描く四季折々の山野草の絵が実際の山野草とともに展示されている「外山康雄野の花館」に立ち寄り、越後湯沢駅から新幹線で東京へ戻ります。



孔雀遊戯の図 襟絵



永林寺

旅行期間	2021年10月1日(金)～10月2日(土)		
旅行代金	2名様1室利用 (お一人様) ※ 1人様1室利用:2,500円増し	79,000円	募集人員 13名様 (最少催行人員8名様)
利用予定ホテル	【1泊目】六日町温泉 旬彩の庄坂戸城(和室)		

1 9:28 東京駅発 -- 上越新幹線 -- 10:49 越後湯沢駅着 → バス移動 → 12:00 昼食  
「櫻苑」にて郷土料理 → 14:00～15:00 八海山龍谷寺拝観 → 15:10～15:40 穴地十二社 → 16:00 六日町温泉「旬彩の庄坂戸城」→ 夕食  
食事:朝×・昼○・夕○【旬彩の庄坂戸城(泊)】

2 8:30 ホテル出発 → バス移動 → 9:00～10:40 西福寺開山堂・雷土神社拝観 → 11:15～12:15 針倉山永林寺拝観 → バス移動 → 13:00～14:00 昼食「そば田畠屋」→ バス移動  
→ 14:15～15:30 塩沢宿牧之通り散策 → バス移動 → 「外山康夫野の花館」→ 越後湯沢駅  
17:14発 -- 上越新幹線 -- 18:40 東京駅着  
食事:朝○・昼○・夕×

スケジュールは天候状況、現地事情により日程の一部が変更される場合があります

添乗員/同行します。 ■食事/朝食1回 昼食2回 夕食1回

■交通機関/JR上越新幹線普通指定席、貸切バス(予定運行会社/銀嶺バス 等同)